

**阪神・淡路大震災
震災復興10年・西宮からの発信**

安全・安心の実現に向けて

「震災復興10年・西宮からの発信」 刊行にあたって

平成7年1月17日午前5時46分、本市を襲ったあの阪神・淡路大震災から10年がたちました。震災により、長年にわたって築き上げてきたすばらしいわがまち西宮は一瞬にして破壊されました。1,100人を超える尊い人命が失われ、61,000世帯以上が全・半壊するという悪夢のような大惨事の中から立ち上がり、この10年間、市民の皆様と力を合わせて復興に取り組んでまいりました。これまでの市民の皆様の懸命のご努力に深く敬意を表します。



土地区画整理事業や市街地再開発事業などの震災復興事業は完成の段階を迎えています。また、まちの復興とともに人口も順調に増加しています。震災後は一旦38万7千人と震災前の人口42万4千人を下回った人口も、子育て世代を中心に増加し、平成16年12月現在では46万人を超えています。

このように、まちには賑わいや活力が増してきましたが、長引く不況の中で被災者の抱える問題や保育所待機児童の解消などの課題も残されております。また、財政状況は一段と厳しさを増しております。

こうした中で、今後、本市が安全で安心できるまちづくりを進めていく上で、今一度あの震災を振り返り、行政の立場から10年を経た現在の課題を整理することが大切であると考えています。このため、「10年前はどうだったのか」「現在はどうなっているのか」という視点から、震災直後の災害応急対策を中心に検証し、あわせて様々な分野でこれまで本市が取り組んできた復興にかかる事業・施策の一覧を編集したのが、この「震災復興10年・西宮からの発信」です。

近年、これまでに例のない頻度と規模で、震災や水害などの自然災害が起こっています。今まさに復興に取り組まなければならない自治体も少なくありません。この記念誌が、そういった自治体をはじめとする各自治体や関係機関における今後の取り組みの参考になれば幸いです。

平成17年（2005年）2月

西宮市長 山田 知

目 次

第Ⅰ部

はじめに

1章 西宮市の概要	1
2章 地震の概要	4
3章 西宮市の被災状況	5
4章 人 口	7
5章 市議会の活動	12
6章 国の財政的支援	19
7章 義援金の受入・支給	24

第Ⅱ部 10年前と現在を比較して

1章 災害への対応状況等 ～災害応急体制～	27
第1節 震災発生前後の市の組織体制	27
第2節 消火活動	31
第3節 救助、救急活動	35
第4節 情報提供及び震災関連相談	39
第5節 医療に関する活動	44
第6節 福祉に関する活動	47
第7節 衛生に関する活動	50
第8節 災害ボランティア活動	52
第9節 避難所の設置・運営	55
第10節 救援物資の受入・配布	58
第11節 応急給水	60
第12節 住宅対策	62
2章 今後の検討課題	64

第Ⅲ部 復旧・復興の状況等(概要)

1章 市民生活の安定、支援	67
第1節 住宅の確保、再建支援	67
第2節 福祉・保健・医療の充実	69
第3節 防災の体制づくり	71

2章 安全で安心できるまちづくり	73
第1節 都市の防災機能の強化	73
第2節 災害に強い建築物等の整備、誘導	73
3章 産業の振興	75
第1節 地域産業の再生・復興	75
第2節 新しい産業活力づくり	76
4章 魅力ある地域社会の創出	77
第1節 支え合う地域コミュニティの形成	77
第2節 教育活動の充実	77
第3節 文化・スポーツの振興	78
第4節 コミュニケーション環境づくり	79
5章 環境と調和した、美しいまちづくり	80
第1節 環境との共生	80
第2節 うるおいのある都市景観の形成	80
6章 市街地の復興	81
第1節 市街地の面的復興整備	81
第2節 道路交通のネットワーク化等	86
第3節 港湾の整備	88
第4節 水と緑のまちづくり	88
第5節 河川・下水道	90
第6節 水道	90
7章 行財政運営等	91
第1節 行財政改善等の取り組み	91
第2節 国、県への要望	93

第Ⅳ部 「平成15年度西宮市市民意識調査より」